

《定期接種》 公費で賄われます

2020年10月1日から注射生ワクチン同士、27日以上の間隔が必要。

ワクチン名	標準接種年齢 (定期接種対象年齢)	(接種開始年齢) 接種回数	標準的な間隔	別のワクチンまでの間隔	備考
ロタ (ロタリックス®)	生後6週から 15週未満に1回目	2回	4週間以上 ただし生後24週未満までに完了	※27日間 実質なし	
ロタ (ロタテック®)	生後6週から 15週未満に1回目	3回	4週間以上 ただし生後33週未満までに完了	※27日間 実質なし	ロタテックは当院では取り寄せになります。
ロタワクチンは、感染性胃腸炎の中で重症化しやすいロタウイルスを予防します。2回飲むロタリックスと3回飲むロタテックの2種類がありますが、どちらか1種類でいいです。当院ではロタリックスを採用しており、ロタテックでしたら取り寄せになります。					
五種混合 (DPT-IPV -Hib) (ゴビーック® クイントバックス®)	2か月から (2か月～7歳6か月)	初回3回+追加1回	3週から8週の間隔で3回 追加は3回目から6～18か月空けて	制限なし	既にヒブワクチンか四種混合ワクチンを開始している人には使えません。2種類ありますが、原則同じものを使用のこ。
肺炎球菌 (PCV15) (パクニュバンス®)	2か月から (2か月～5歳未満)	通常 → (2か月～7か月未満) 初回3回+追加1回	27日以上の間隔で3回(1歳までに完了のこと)、追加は3回目から60日以上空けて1歳から1歳3か月で	制限なし	初回2回目が1歳を超えたら3回目は行わない。初回2回目3回目が2歳を超えるなら、行わない。ともに追加接種可。 ★2歳を超えたら初回2回目をせずに、追加接種を。
		(開始が7か月～12か月未満になった場合) 初回2回+追加1回:27日以上の間隔で2回(2歳までに完了のこと★)、追加は2回目から60日以上空けて、1歳以降に			
		(開始が12か月～24か月未満になった場合)60日以上空けて2回 (開始が24か月～5歳未満になった場合)1回のみ			
肺炎球菌(PCV15、パクニュバンス®)は既にPCV13(プレベナー®)を開始していても接種可能です。皮下注射・筋肉注射どちらも可能となりました。					
B型肝炎	2か月から (1歳未満)	初回2回+追加1回	1回目と2回目の間は4週以上、1回目と3回目の間は20週以上(かつ1歳未満で)	制限なし	
BCG	5か月～8か月未満 (1歳未満)	1回		※27日間 実質なし	堺市は2022年6月まで集団接種でしたが、2023年1月からは個別接種のみに移行しました。
MR (麻疹・風疹)	I期 1歳～2歳未満の間に1回 II期 5歳～7歳未満の小学校就学前の1年間(年長さん)に1回			※27日間	
水痘	初回を1歳～1歳3か月 (1歳～3歳未満)	2回	2回目は1回目から6か月～1年後	※27日間	水痘にかかった方は対象外になります。2回目までの最短間隔は3か月。
日本脳炎 I期	初回の2回を 3歳以上4歳未満に追加を 4歳以上5歳未満に (6か月～7歳6か月未満)	初回2回+追加1回	1回目と2回目の間は6～28日間、追加は2回目から概ね1年後	制限なし	初回2回目から追加まで最低6か月以上
日本脳炎 II期	9歳以上10歳未満に (9歳～13歳未満)	1回		制限なし	
二種混合 II期(DT)	11歳以上12歳未満に (11歳～13歳未満)	1回		制限なし	下欄外をご参照ください
子宮頸がん (シルガード®9)	中学1年の女子 (小学6年～高校1年相当)	3回	1回目と2回目の間は2か月、1回目と3回目の間は6か月(ただし、2回目と3回目の間隔は3か月以上)。この間隔でできない場合は、1か月以上の間隔を空けて2回接種し、2回目の接種から3か月以上空けて3回目を接種する。	制限なし	2022年4月から積極的勧奨に戻りました。ガーダシル®がサーバリックス®で既に開始している方は、医師と相談の上、3回に不足分をシルガード®9で接種可能(交差接種可)。
		2回	小学校6年～15歳未満までに2回を受けた方のみ可能。1回目と2回目の間は6か月(少なくとも5か月以上)。5か月未満で2回目を接種した場合は、3回目接種を2回目の接種から3か月以上空けて行う。		
		3回	1回目と2回目の間は2か月、1回目と3回目の間は6か月この間隔でできない場合は、1か月以上の間隔を空けて2回接種し、2回目の接種から3か月以上空けて3回目を接種する。		
子宮頸がん (ガーダシル®)	平成20年4月1日生の方は令和6年度末まで定期接種として接種できます。	3回	1回目と2回目の間は1か月、1回目と3回目の間は6か月この間隔でできない場合は、2回目は1回目から1～2、5か月の間で、3回目は1回目の接種から5～12か月の間で調整する。	制限なし	

《任意接種》 自費になります

※ 次のワクチンが注射の生ワクチンだった場合のみ

インフルエンザ以外のワクチンは、コロナワクチン前後2週間打てません

ロタとBCGの実質なしはその時期に打つ

注射の生ワクチンがないことを指します。

ワクチン名	接種年齢	接種回数	間隔	別のワクチンまでの間隔	料金 (税込み)
おたふくかぜ	1歳以上	1歳を過ぎたら早期に1回目、2回目をMRワクチンのII期と同時期(5歳以上7歳未満の就学前の1年間)に推奨		※27日間	1回5,100円
三種混合 (DPT)	5歳以上7歳未満	1回(就学前児の百日咳抗体が低下しているため、就学前の追加接種を推奨)		制限なし	1回5,270円
インフルエンザ	6か月以上 免疫がつきにくいので、1歳以上の接種をお勧めします。	(6か月から12歳まで) 2回	2～4週間後に2回目 4週間後頃が望ましい	制限なし	1回目 3,100円 2回目 3歳未満:2,600円 3歳以上:3,100円 (当院で1回目を受けておられない3歳未満の2回目は3,100円いただきます。)
		(13歳以上) 1回			
子宮頸がん (ガーダシル®)	9歳以上の男性	3回	1回目と2回目の間は2か月、1回目と3回目の間は6か月	制限なし	1回16,000円

日本小児科学会は、百日咳に対する免疫が低下しているため、11歳以上13歳未満の二種混合(DT)の代わりに三種混合を任意で受けることもできると言い始めましたが、任意ということは自費でということになります。また、同学会は5歳から7歳未満で、ポリオに対する抗体価が減衰する前に不活化ポリオを1回追加接種することを推奨としています。